

地球温暖化防止実行計画

平成 28年 11月
北川瀝青工業株式会社

6 基準年度(計画前年度)のCO2排出状況 (平成27年度)

※排出係数は、2013年度(平成25年度)に固定する。

燃料等区分	使用量	CO2 排出係数	CO2排出量 (kg-CO2)	CO2排出割合 (%)
電 気 (kwh)	49,000	0.63	30,870	86.0%
ガソリン (L)	0	2.32	0	0%
軽 油 (L)	0	2.58	0	0%
灯 油 (L)	1,984	2.49	4,940	13.8%
A重油 (L)	0	2.71	0	0%
都市ガス (m ³)	38	2.29	87	0.2%
液化天然ガスLPG (m ³)	0	5.97	0	0%
CO2排出量合計 (kg-CO2)			35,897	100%

7 事業の中で排出される温室効果ガスの主な排出原因

- ① 本社内の照明および事務機器や空調機器にかかる電気。
 ② 本社内の給湯室において使用するガス。
 ③ 本社内の冬期間においての暖房用(ストーブ)に使用する灯油。

8 CO2排出量削減目標

※削減対象は、上記6に記載する燃料等のエネルギー起源二酸化炭素排出量とします。

CO2総排出量による目標設定

区 分	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	平成 32
CO2排出量 (kg-CO2)	35,179	34,461	33,743	33,384	33,025
対基準年度削減目標	2%	4%	6%	7%	8%

9 CO2排出量削減に向けての具体的な取組内容

- 電気： 本社内での冷暖房は、温度設定を一定に管理し、節電に努める。
照明機器や事務機器は、交換の時期に合わせて、節電タイプのものに切り替える。
- ガス： 本社内の給湯室で使用するガスは、効率良く使う。
- 灯油： 本社内の冬期間において使用するストーブは、温度設定出来るタイプのため、こまめに温度管理を行う。

10 その他の環境に関する取組

【紙の使用量削減】

27年度(基準年)の使用量:(180,305)枚

通年取組事項

- ・OA用紙の裏面活用に努める。
- ・ミスコピーの削減に努める。
- ・メールの活用で、紙の使用を削減する。

【水の使用量削減】

27年度(基準年)の使用量:(287) m³

通年取組事項

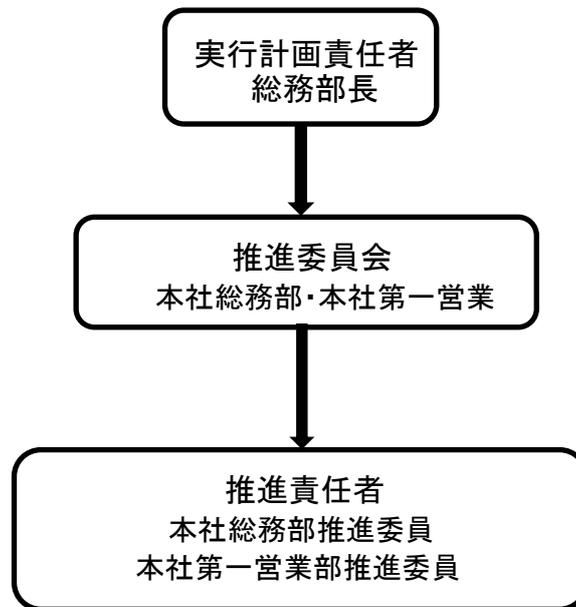
- ・給湯室での食器洗浄の際、節水を心がける。
- ・トイレや手洗い場での節水を心がける。

(環境保全活動の推進)

石川県より犀川において、「美しい河川環境を創る活動を支援するサポーター」に認定されている。(平成25年5月23日)

11 計画の推進体制および社員研修

(推進体制)



(社員研修)

環境についての教育は、必要に応じて外部機関が実施する研修等に参加させている。
研修受講後、必要に応じて推進委員会を開催し、研修内容の報告を行う。